2026年度

芝国際高等学校

学校案内パンフレット付属資料

SHIBA KOKUSAI
SENIOR HIGH SCHOOL

理想の社会を生徒が創る

Building your future

本校が目指す教育のゴールは、理想の社会を生徒が創ることです。生成AIなど科学技術の進歩によって社会もどんどん変化していきます。
進化する科学技術に振り回されるのではなく、むしろそれらを使いこなしながら、人類と地球全体の幸せに貢献することができるチカラを身につけます。

3つのステップで、実社会の課題に挑戦する

課題を発見し、解決へ導く力を育む

STEP 1

「貢献」の視点を育む探究学習

1 課題を発見し、課題解決を行いながら思考力・判断力・表現力、協働する力に加えて構想力を養います。問題に挑戦し、突破していきます。
2 生徒自らがワクワクする想いのもと、起業に向けて自発的に行動・挑戦していきます。
3 他者と一緒に自らが創りたい理想の世界に貢献できる人を目指します。

FOCUS

Critical Thinking and Designを学ぶ

本校では、探究学習をはじめ、各教科のさまざまな場面において、Critical & Design Thinkingを学びます。マンダラチャートやマインドマップ、ブレインストーミング、KJ法、シックスハットといったいくつもの「考える手法」で思考を整理。クラスメイトと意見を交わしながら課題を解決する経験を積み上げていきます。

コミュニティーづくりを体感する

STEP 2

アントレプレナーシップを育む学び

1 マーケティングの基礎を学び、自ら企画するものが世の中に求められるものかを調査します。
2 自己理解を深めるとともに、他者の巻き込み方を学び、分析する過程でコミュニティーのあり方、つくり方を学びます。
3 一人ひとりがリーダーとなり、フォロワーとなり、互いに高め合うことができるつながりを形成します。

アントレプレナーシップを育む学びの全体像

高1	高2	高3
マーケティング 課題への行動 課題の分解 課題発見 デザイン思考	起業への挑戦	大学総合選抜 実社会

フォロワーを集め、起業の実現

STEP 3

起業学習のルーブリック

1 2年間の学びをベースとした「自らの貢献のカタチ」を社会に発信していくために、ステークホルダー（フォロワー）を集める大会を開催します。
2 フォロワー（投資的な支援や共同開発者）の心を動かし、想いを実現するための第一歩となる舞台を経験します。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	他者・多者との協働 他者の行動の変容と貢献
第 3 段階	事業を創造するためにMVPを作成しモノ・サービスをブラッシュアップし続けることができる	自らの価値観のもと、想い（なぜ私がやりたいのか）／誰の何を／どう解決するのかを言語化・具現化してアウトプットすることができる	課題解決法（モノ／サービス）をもとに誰かの日常の行動の一部分を変えることができる
第 2 段階	事業を創造するためのアイデアを言語化／具現化することができる	課題を解決するアイデアをプレゼンテーションとしてまとめ、次のステップのためのフィードバックがもらえる	フォロワーをさらに増やすことができ、何らかの方法で社会に発信することができる
第 1 段階	事業を創造するために何が必要かアイデアを出すことができる	自らの価値観やつくりたいセカイ、解決したい問題を言語化することができる	自らが創りたいセカイをつくるためのフォロワーをつくることができる

世界標準の学び

A global standard of learning

一人ひとりの幸せ Well-being

主体的（Student Agency）であること

イノベーティブであること

グローバルであること

シチズンシップを身につけていること

世界で活躍する力を育てる

自ら学ぶ姿勢を育む

スクールルーブリック

「スクールルーブリック」をもとに各教科の評価軸を設定し、生徒と教員が授業のゴールを共有。
目的意識を持って学ぶ習慣を身につけます。
思考力・表現力などは、評価の根拠を言葉で明示し、学びへのモチベーションを継続させます。

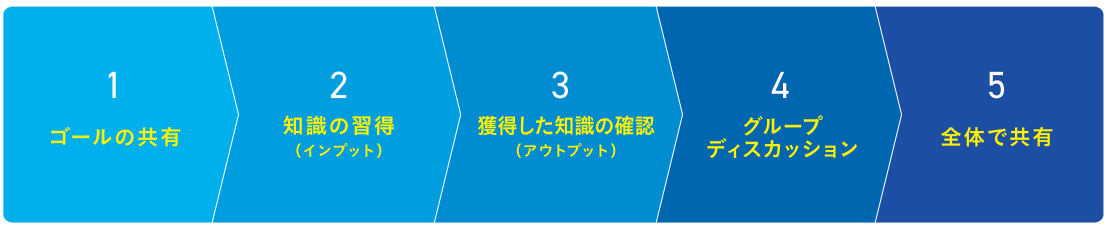
■ 芝国際中高のスクールルーブリック

観点／評価	挑戦 知識・技能	行動 思考力・判断力・表現力	突破 主体的に学習に取り組む態度	貢献 社会・世界と関わりよりよい人生を送る
A	**知識の活用力** 多様な知識を活用し、国際的視点で自分の考えを構築・発信できる。	**多文化理解と対話力** 多様な価値観を尊重して意見を発信し、共創的な議論を行うことができる。	**未来志向と主体性** 地球規模の課題に主体的・計画的に取り組み、他者の学びをリードできる。	国際社会の発展のために貢献する 日本社会の発展ために貢献する 芝国際の発展のために貢献する
B	**知識の応用力** 知識の幅を広げ、基礎知識をもとに論理的に自分の考えを表現できる。	**他者理解と表現力** 異なる意見を受け入れて共に思考し、批判的に自分の意見を表明できる。	**社会を変える問いと協働** 他者と協力しながら、社会を変える問いを立てることができる。	
C	**視野の拡大** 限られた知識で課題に取り組むが、より柔軟な活用力が必要である。	**多様性への対応** 多様な視点に課題があるが、他者の意見を受け入れる姿勢が見られる。	**学びの継続意欲** 社会課題への関心や学びへの意欲はあるが継続的な取り組みに課題がある。	

未来の問題を解決する力を身につける

対話形式授業

授業内でのディスカッションや
プレゼンテーションを繰り返すことにより、
論理的思考力やコミュニケーション力、プレゼン力を高めます。



確かな学力

Pursuing academic excellence

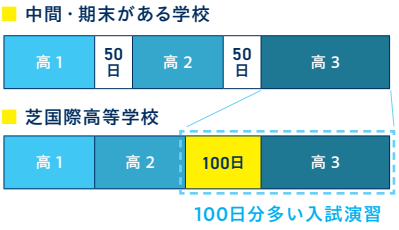
解なき問いに挑む際、誤った知識では最適解を導き出すことができません。
インタラクティブな授業を主としながら、正確な知識のインプットをフォローします。

目指す進路を実現する

大学受験に向け十分な学習時間を確保

大学合格へと導く学び

大学入試に必要な学習単元は授業内にチェック。理解不足の生徒には、その場でアドバイスを加えます。その効果的な学習メソッドにより、「中間・期末」に当たる定期試験の必要性がなくなりました。その結果、定期試験の準備に費やす期間が劇的に短縮され、1学年で約50日を通常授業として費やすことが可能となり、大学入試演習の時間を十分確保することができるようになります。



自己調整学習を促進させる

チェック&フォロー体制

生徒自ら自分に足りていない部分と向き合い補完するための学習システム。単元テストや模試でチェックした学習の定着状況に対して、朝の学習と放課後の5分面談を中心とするAARサイクルによって自己調整学習をフォローします。

	月	火	水	木	金	土
朝のHR Morning Learn	1週間の学習の計画を作成	学習計画の実行				1週間の学習の振り返り
放課後 Quick Follow	教員との月に2回の5分面談					

個々に合わせた受験情報をプロや現場の学生の目線からサポート

あらゆる進路実現に対応した進学セミナー

この2年間で生徒が志望する進路先に合わせた進学セミナーや講演・質問会を開いてきました。一例として、東大セミナー　難関国公立セミナー、難関私大セミナー、海外大学進学セミナー、またこのセミナーに合わせた学生の講演＆質問会などを行ってきました。これに加えてベネッセや各予備校からの最新の受験情報を含めた講演を行い、今すべきこと、今目指すべきレベルなどを個々の進学にあわせた情報を発信しています。

知的好奇心を刺激して更なる学力向上へ

放課後塾・放課後予備校

芝国予備校（3年・4年・5年・6年）※希望者のみ
開講時間　16：00〜20：10

最難関国公立大・難関私立大を目標とする生徒を対象に、大学の過去問題を取り入れた授業を行います。学校の授業と芝国予備校で受験まで完結させることができます。

東大・早稲田・シニアチューター

東大生を中心としたチューターが質問対応や自学習のアドバイスをしてくれます。勉強のサポートはもちろん、ロールモデルが近くにいることで、学びへの意欲が高まります。

動画と確認テストで理解を深める

スタディサプリを標準装備

授業内での不明点や、自分で進めたい分野は、スタディサプリの動画で復習・予習が行えます。確認テストや到達度テストがあるので理解度チェックし、学力向上に役立ちます。

そして世界へ

The world is yours

真の国際人とは、自分の幸せはもちろん、さまざまな人や生きとし生けるもの全てと協働・共生することで身近な人から世界の幸せにまで貢献できる人だと考えています。6年間で一度は海外に行き、世界を感じてほしいと、研修・留学のチャンスを豊富に用意しています。

グローバル教育

芝国際流
グローバル教育とは

本校のグローバル教育は「多様な考え方や価値観を理解する」ことに重きを置いています。さまざまな国に行くことや、語学力を身につけることだけが最終目標ではありません。本校では、自分の目で見て感じる機会を多く設けることによって、自ら行動を起こすことのできる生徒を育てます。

FOCUS

芝国際流グローバル教育とは？

1. コスモ（心の教育）を基盤に、多様な考え方や価値観を知る
2. 探究活動やアントレプレナーシップ教育で学びを深めたうえで現地を訪れ、実社会での取り組みを体感する
3. 多くの人と話し、共通点や相違点を知り、文化を学び相手を受け入れる

International Educatorも多数在籍
日常的に英語に触れられる環境

本校には、常勤のInternational Educatorも多数在籍しており、授業以外でも、校内ですれ違った教員と生徒が英語でコミュニケーションを取る姿が見られます。日々の学校生活の中で“みんな違って当たり前である”ことと同時に“みんな同じ人間である”ということを感じ、外国人教員と話すことへの壁がなくなっていきます。異なる文化・社会・宗教・環境のもとで育ってきた教員の視点に触れることも、生徒たちにとって思考を深め、気づきを得る貴重な経験となります。

次の行動へのステップとなる
海外留学プログラム

※2026年度実施予定のもので、今後変更の可能性があります。

- オーストラリアターム留学［TAS州立College／St. Aloysius College／OLSH College／Woodcroft College］（3ヶ月）
- ニュージーランドターム留学［Westlake Boys HS／Westlake Girls HS］（3ヶ月）
- トロント研修［Toronto大学］（3週間）
- イギリス研修［UCL（大学見学）］（2週間）
- UBC研修［UBC］（2週間）
- イギリス研修［Wycombe Abbey］（2週間）
- サンフランシスコ研修［UC Berkeley］（2週間）
- バンクーバー研修［TRU］（4週間）
- マレーシア研修［APU］（1ヶ月）

※各プログラムは、世界情勢により変更になる可能性があります。

NEWS!

タスマニア州政府国際教育課（GETI）と『教育連携に関する覚書』を締結

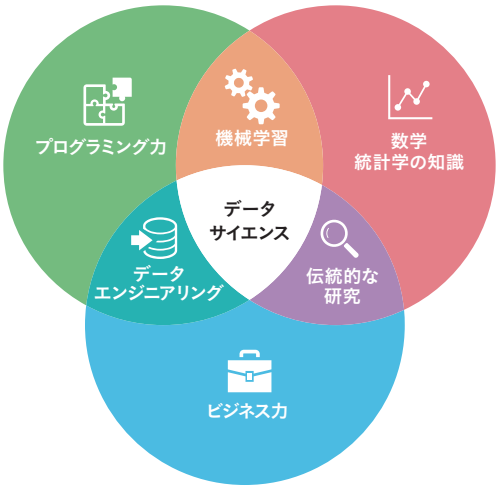
国際教育における協力関係を強化するため、学校としては国内唯一、GETIと覚書を締結しました。生徒や教員、学校職員のグローバルコンピテンシーの育成強化に寄与するプログラム開発や、短期カリキュラム、語学研修、異文化体験などにおいて連携していきます。

そして未来へ

The future is yours

文理融合のデータサイエンス
テクノロジーを基盤とするSTEAM教育

本校では文系・理系の枠にとらわれない、AIやビッグデータといった科学技術のリテラシーを身につけ、データサイエンスを習得する文理融合の学びを実践しています。また、あらゆる方向に対してテクノロジーをベースにしたSTEAM教育を展開します。今、地球上はまさにデジタルワールド。さまざまな分野の発展はインターネットの存在なくして実現していません。だからこそ、まずはテクノロジーを身につけることが世界標準の学びにつながると考えます。数学もサイエンスも、アートの分野もテクノロジーによって可能になることが格段に増えます。



FOCUS

実社会と共通のツールや題材で学ぶ

本校のSTEAM教育で特に重視しているのは、実社会と同じツールを使って学ぶということです。学習用のツールをいくら使いこなせても実社会では活用できません。そのため本校ではExcelをはじめ、実社会で使われているツールを採用。売上データを題材に分析するなど、常に社会課題と紐付けながら学習していきます。

生徒の好奇心を育む
最先端の 技術と機会が充実

校舎の共有スペースに生徒が自由に使うことができる3Dプリンターを設置するなど、最先端の技術に触れ、チャレンジできる環境が充実。誰かが生み出すのを待つのではなく、自分で挑戦・行動・突破する楽しさを知る。それが生徒の好奇心が芽生える第一歩となり、イノベーションを起こす情熱が生まれます。社会への貢献とは、言い換えれば人々が幸せに暮らすためのものを“生み出す”ということ。本校ではSTEAM教育を通して、全てのイノベーションの始まりとなる「好奇心」を育てていきます。

FOCUS

ロボットづくりや宇宙産業の学びにチャレンジ

生徒たちにSTEAM教育の最先端を体験してもらいます。2023年度は、バルーンを成層圏まで打ち上げ、観測をおこないました。学んだことを活かして実際にロボットを動かすなどの体験は、生徒たちの好奇心を刺激させます。

エンジニアカルチャーと学び合い

本校では、一人一台のICT機器やネットワーク環境を整備。学校を通して全員がデバイスPCを持ち、1年生から授業の中でPCを日常的に使うことでPCの扱いに慣れていきます。教科書通りに取り組むのではなく、得た知識をもとに自分でチャレンジ。疑問や失敗にぶつかったら、クラスメイト同士で教え合いながら解決していきます。このように思考する時間を繰り返し、自分の力にしていく体験を本校では「エンジニアカルチャー」と呼んでいます。自分が挑戦したいと思うことを見つけ、行動するためのスキルを段階的に高め、突破できるマインドを養成する。知識を得るだけで完結しない、10年後の働く姿を見据えた「自走心」を育むのが、本校のICT教育の特徴です。

ICT教育の流れ

STEP 1
生徒たちに「エンジニアカルチャー」の種を植える
Excelに触れるところからスタート。さまざまな関数や機能を使って取得した情報を分析し、可視化する力を身につけます。

STEP 2
Adobeツールを用いた実践
PCを使ってできることが増えてきます。そこで第2ステップとしてAdobeツールを用いて画像や動画の編集をするなど、実践的にチャレンジする機会を増やしていきます。

STEP 3
プログラミングを使ってやってみたいことにチャレンジ
より自由度を持たせ、簡単なゲームアプリやホームページなど、ひとつのものを最後まで作りきることに挑戦します。

夢の実現

Realizing our dreams

夢を実現させるための準備は、中学生の段階からスタートします。日頃の深い学びの積み重ねで、進路実現力を育みます。
希望する進路を切り拓くための挑戦をつづけ、目標に向かって行動し、突破すること。それが、夢の実現につながるステップとなります。

2026年度募集コース

中学校の段階から将来を見据え、一人ひとりの夢を実現に導く2つのコース。
知識をインプットするだけでなく、得た知識を活用して世界・社会に貢献できる人材育成を目指します。

最難関選抜コース

STEAM教育と世界標準の教育をバランス良く行います。大学入試では文理選択はありますが、教育内容としては文系脳も理系脳も育成していきます。国公立大学、早稲田・慶應・上智・東京理科大・ICU・医学部・海外大学などを目指します。

国際コース

十分な英語力があり、さまざまなバックボーンを持つ生徒が対象のコースです。授業のうち、英語・数学・理科・社会は英語で行います。HRクラスはインターナショナルエデュケーターによって英語で運営されます。大学進学は海外大学や国内の英語を中心とした入試を持つ難関・最難関大学を想定しています。

STEP 1

全国レベルの模試で
学習成果を測る

本校では、模試も意識して日頃の授業を行います。その結果で学習成果を測ることや、全国レベルの自分の立ち位置を知ることが目的です。一般的な試験期間に集中して勉強するのでなく、日頃から学びの定着を重視することで、幅広い進路の実現を目指します。

STEP 2

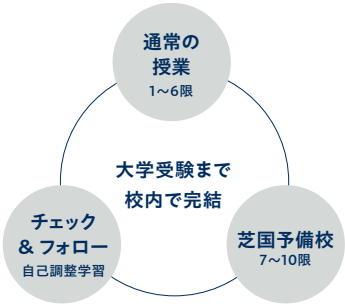
担任と進路指導担当が一体となる
一人ひとりに寄り添うための「カンファレンス」

模擬試験終了後、学年ごとに担任と進学指導担当が集まり、カンファレンスを実施。模試の結果をもとに、科目の中でどの部分に弱点があるのか分析し、今後の課題を教員全体で共有し、指導にあたります。

STEP 3

大学受験勉強は校内で完結!
基本の完成度を高める学習

本校では、1〜6限の授業で「基本の完成度を高める」ことを重要視し、放課後サポートで受験対応力を身につけます。基本＝教科書の内容ではありません。基本＝原理原則を徹底的に理解することです。「なぜそうなるのか」を理解することは、教科への興味関心やモチベーションを高めることにもつながります。それが最終的に、進路実現の結果として現れます。



・学校と予備校の進度が同じ
・昼間の先生と情報を共有
・授業や行事との連携

FOCUS

海外大学受験も強力にサポート

SAT対策
SATはアメリカなどの大学を受験する際に必要となるテストです。本校では数学、理科、社会（日本史を除く）を英語で実施することにより、SATに対応する学力を身につけます。

海外大学への進学をサポート
「UPAS海外大学進学協定校推薦制度」は、高校在学中に海外大学の英語要件をクリアすることで、語学学校を経由せずに海外大学へ直接進学する仕組みです。（一般的な海外進学で求められるSATやエッセイが基本的には不要）

UPAS協定大学

アメリカ（50校）
- Grand Valley State University
- Queens College,CUNY
- San Francisco State University
- University of Massachusetts, Dartmouth

ほか

イギリス（9校）
- University of York
- University of Essex
- City, University of London
- University of Westminster

ほか

オーストラリア（9校）
- Griffith University
- University of Sydney
- University of South Australia

ほか

カナダ
- Simon Fraser University
- University of Manitoba

ほか